

## 令和2年度 学校評価アンケート【保護者】の分析

肯定的評価・・・a「よくあてはまる」とb「ややあてはまる」を合わせたもの

否定的評価・・・c「あまりあてはまらない」とd「あてはまらない」を合わせたもの

### ◎肯定的評価が多いもの（今年度80%以上）

- ・20項目中11項目において、肯定的評価が多くなっている。  
（昨年度は20項目中17項目）

### ○肯定的評価は多いといえないものの（今年度80%未満、60%以上）、比較的良い評価のもの

項目5	：本校の生徒会活動や部活動は活発である	77.8%
項目16	：学校からの情報提供で学校の様子が十分伝わってくる	71.5%
項目12	：教職員は、体罰を行っていない	69.3%
項目8	：清掃が行き届いており、校内がきれいである	67.1%
項目9	：快適な学校環境を築くため施設の整備に力を入れている	63.0%
項目11	：いじめ防止のために丁寧な指導を行っている	60.1%
項目15	：PTA活動のあり方は、適切である	60.1%

### ●肯定的評価が少ないもの（今年度60%未満）

項目14	：教職員とのコミュニケーションを大切にしている	56.3%
項目13	：PTA活動など、学校の諸活動に協力している	40.4%

[まとめ]

- ① 回答率は82.0%と、昨年度の88.0%と比べて、WEB上の回答に変更したことによりやや減少したものの、極端な減少にならずに済んだのは、保護者の協力の賜物である。なお、20項目中11項目が80%以上の高評価を得ているが、昨年度（20項目中17項目）と比べ大幅な減少である。新型コロナウイルス対応のため、保護者の方が校内に足を運ぶ機会を設定できなかったことが大きく影響しているのではないかと推測する。実際、各回答において「選択できない」を選んでいる割合が1~35%あった（昨年度は全て0%）。
- ② 項目17「本校に通うことは子どもの将来にとって意義がある」の肯定的評価が91.1%と非常に高く、それぞれの生徒が自分の能力を伸ばすべく生活できているものと考えられる。
- ③ 項目13「PTA活動」や項目14「教職員とのコミュニケーション」については、保護者が参加したり参観したりする機会がほとんどなかったことから、低い数値になったと分析する。今後、学校の様子が伝わるよう、「明新館通信」や「学年通信」、各種行事や説明会案内の配布について、配布した旨をマメールで周知したりするなど、さらなる工夫が行う必要がある。
- ④ 自由記述していただいた意見については、教職員が適切に状況を把握して課題の共有を行い、その改善に努めていく。